

社会开发与水资源·水环境问题国际会议

**International Symposium on Water Resources and Environmental
Problems with Social Development**

社会開発と水資源・水環境問題に関する国際シンポジウム

主办：南京大学环境学院污染控制与资源化研究国家重点实验室

総合地球環境学研究所中国環境問題研究拠点、

河海大学農業工学学院

协办：現代中国地域研究拠点連携、河海大学

后援：江蘇省環境科学研究所、在上海日本總領事館

2007 年 11 月 9 日

会場：南京国際会議大酒店

（南京市中山陵四方城 2 号）

社会开发与水资源·水环境问题国际会议

International Symposium on Water Resources and Environmental Problems with Social Development

主催: 南京大学环境学院污染控制与资源化研究国家重点实验室
総合地球環境学研究所中国環境問題研究拠点、
河海大学農業工程学院

協賛: 現代中国地域研究拠点連携、河海大学

後援: 江蘇省環境科学研究院、在上海日本総領事館

会议目的与意义:

21 世纪是水的世纪，“世界上有 40%的人口生活在水资源不足地区，2025 年将会有 48%的世界人口面临水资源缺乏的问题”，同时“世界人口的 20%将会面临无法获取安全的水资源的状态”。也就是说，随着社会的发展，人类生存不可缺的水资源的问题、和水有关的环境问题会比现在更加明显地暴露出来。在过去的几年中，中日双方已就水资源、水环境问题开展了积极的联合研究。本次会议，以水资源缺乏问题和水质污染问题为核心内容，通过研究成果的介绍，进一步认识问题现状，深入讨论社会开发和水问题的关系，为问题解决的对策与措施的制定提供理论基础。

趣旨

21 世紀は水の世紀とも言われている。いわく、「世界人口の約 40%が水不足状態の地域に生活しており、2025 年には世界人口の 48%が水不足」となる可能性が高い。また「世界人口の約 1/5 が安全な水へのアクセスが無い」状態だという。つまり、人類の生存にとって不可欠な、水に関わる環境問題が、今まで以上に顕在化する可能性が高い。本シンポジウムでは、中国における水不足や水質劣化などの水問題に焦点を当て、日中の研究成果に基づいてその実態に迫るとともに、開発事業とこれら水問題とのかかわりを議論することにより、その克服に向けた学問的基盤作りを行おうとするものである。

会议议程

09:00-9:40 开幕式(主持：郑正(南京大学环境学院院长))

致辞：张序余(南京大学助理)

毛里和子(早稻田大学;当代中国区域研究基地总负责人)

第一部分 水资源

主持：陈菁(河海大学)，中尾正义(综合地球环境研究所)

09:40-10:05 宋献方(中国科学院地理科学与资源研究所)

「浅谈黄河流域水资源管理」

10:05-10:30 窪田順平(综合地球环境研究所)

「地球环境问题之干旱与半干旱地区的水资源问题—以中国西北部黑河流域为例—」

10:30-11:45 综合讨论

第二部分 湖泊环境

主持：秋道智彌(综合地球环境学研究所)，钱新(南京大学)

13:00-13:25 高村典子(国立环境研究所)

「霞浦的富营养化问题及其解决措施—现状和课题」

13:25-13:50 郑正(南京大学)

「太湖入湖河流水污染控制对策研究」

13:50-14:15 孔繁翔(地理湖泊研究所)

「太湖蓝藻水华的预防、预测与预警」

14:15-15:30 综合讨论

第三部分 开发和评价

主持：色音(北京师范大学)，小長谷有紀(国立民族学博物馆)

15:50-16:15 朱伟(河海大学)

「长江的水环境问题及其对策--以镇江为例」

16:15-16:40 吉岡崇仁(京都大学)

「可持续发展和环境评价」

16:40-17:55 综合讨论

17:55-18:15 闭幕式(主持:张展羽(河海大学农业工程院院长))

致辞：徐卫亚(河海大学助理)

中尾正义(综合地球环境学研究所)

プログラム

9:00～9:40 オープニング（司会：鄭正（南京大学環境学院院長））

挨拶（中国側）張序余（南京大学学長補佐）

挨拶（日本側）毛里和子（早稲田大学；現代中国研究拠点連携幹事長）

第一部 水資源

座長／議論：陳菁（河海大学）、中尾正義（総合地球環境学研究所）

9:40～10:05 宋献方（中国科学院地理科学与資源研究所）

「黄河の流域管理」

10:05～10:30 窪田順平（総合地球環境学研究所）

「地球環境問題としての乾燥・半乾燥地の水問題－中国西北部黒河流域を例として」

10:30～11:45 総合討論

第二部 湖環境

座長／議論：秋道智彌（総合地球環境学研究所）、銭新（南京大学）

13:00～13:25 高村典子（国立環境研究所）

「霞ヶ浦の富栄養化とその克服－現状と課題－」

13:25～13:50 鄭正（南京大学）

「太湖の入湖河川による水質汚染の規制と対策」

13:50～14:15 孔繁祥（中国科学院南京地理与湖研究所）

「太湖におけるアオコの予防・予測・警戒」

14:15～15:30 総合討論

第三部 開発とアセスメント

座長／議論：色音（北京師範大学）、小長谷有紀（国立民族学博物館）

15:50～16:15 朱偉（河海大学）

「揚子江の水環境問題および対策－鎮江市を例として－」

16:15～16:40 吉岡崇仁（京都大学）

「持続可能な発展と環境評価」

16:40～17:55 総合討論

17:55～18:15 クロージング（司会：張展羽（河海大学農業工程学院院長））

挨拶（中国側）徐衛亜（河海大学学長補佐）

挨拶（日本側）中尾正義（総合地球環境学研究所；中国環境問題研究拠点リーダー）